

# 2019国際ロボット展

## INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2019

ロボットがつなぐ人に優しい社会

12月18日（水）～21日（土）

**産業用からサービス用まで最新のロボットが一堂に！**

**過去最大の637社が東京ビッグサイトに集結します。**

（一社）日本ロボット工業会と日刊工業新聞社は、2019年12月18日（水）～21日（土）の4日間、東京ビッグサイトで『ロボットがつなぐ人に優しい社会』をテーマに、「2019国際ロボット展」を開催します。本展は、2年に1度開催する世界最大規模のロボットトレードショーとして、今回で23回目を迎えます。

「2019国際ロボット展」は、前回2017年を上回る、637社・団体、3,060小間（前回612社・団体2,775小間）の過去最大規模での開催となります。

今回は東京ビッグサイトの「青海」「西」「南」ホールを使用しての開催となり、産業用ロボットメーカーによる大規模展示を始め、国内外より、IoT、AI、関連技術など、ロボットに関わる製品・技術が一堂に揃い、最先端のロボットに触れられる4日間となります。

また、最終日12月21日（土）は、ロボットの操作体験や工作教室などを行う「つくる☆さわれる国際ロボット展」を開催し、来場者も楽しめる企画を行います。

シンポジウム・フォーラムでは、初日にロボットメーカーとユーザー企業による「iREXロボットフォーラム2019」を開催し、“ロボットはパートナー・変わりつつある働く現場”をテーマに、ロボット導入が進む社会や未来を探ります。

その他、海外から著名なロボット開発者を招いて「NEDOロボット・AIフォーラム2019」や「ロボット革命・産業IoT国際シンポジウム2019」など、注目のフォーラムを連日開催します。

つきましては、ぜひ貴社媒体にて、「2019国際ロボット展」をご紹介いただくと幸いです。

### 【会期中お問い合わせ先】

『国際ロボット展』 広報センター  
(株)フルハウス内

受付時間: 10:00～17:00(土日祝休み)  
TEL: 03-3405-5070  
E-mail: irex-press@fullhouse.jp

### 【プレス登録について】

「国際ロボット展」公式Webサイトより、「プレス登録」を行ってください。  
必須事項をご登録のうえ、会期中は青海Aホール、西ホール1Fアトリウムに設置のプレス受付へお越しください。  
会場ではプレスルームをご利用いただけます。

## 開催概要

---

- ◆ 名 称：2019 国際ロボット展 [INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2019 (iREX2019)]
- ◆ 開催趣旨：国内外における産業用・サービス用ロボットおよび関連機器を一堂に集めて展示し、利用技術の向上と市場の開拓に貢献し、ロボットの市場創出と産業技術の振興に寄与する。
- ◆ テー マ：「ロボットがつなぐ人に優しい社会」
- ◆ 主 催：一般社団法人 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社
- ◆ 後 援：経済産業省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、総務省、文部科学省、日本商工会議所、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、日本貿易振興機構（JETRO）、NHK（順不同、法人格略）
- ◆ 協 賛：計測自動制御学会、情報通信ネットワーク産業協会、製造科学技術センター、全日本プラスチック製品工業連合会、テクノエイド協会、日本アミューズメントマシン協会、日本機械工業連合会、日本金属プレス工業協会、日本クリーン環境推進機構、日本建設機械工業会、日本建設機械施工協会、日本工作機械工業会、日本産業機械工業会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本食品機械工業会、日本鍛圧機械工業会、日本鉄鋼協会、日本電気計測器工業会、日本電機工業会、日本電気制御機器工業会、日本塗装工業会、日本半導体製造装置協会、日本福祉用具供給協会、日本福祉用具・生活支援用具協会、日本物流システム機器協会、日本フルードパワー工業会、日本ベルト工業会、日本防錆技術協会、日本包装機械工業会、日本溶接協会、日本ロボット学会、マイクロマシンセンター、ロボット革命イニシアティブ協議会（順不同、法人格略）
- ◆ 会 期：2019 年（令和元年）12 月 18 日（水）～ 21 日（土）
- ◆ 会 場：東京ビッグサイト 青海・西・南ホール
- ◆ 開催時間：10：00 ～ 17：00
- ◆ 入 場 料：1,000 円 ※事前登録者、招待券持参者、中学生以下は無料
- ◆ 同時開催展：「2019 部品供給装置展」
  - 主催：日本部品供給装置工業会、日刊工業新聞社
  - 会期：12 月 18 日（水）～ 21 日（土）
  - 場所：西 3 ホール

# 開催規模

※11月19日現在

合計 637 社・団体 3,060 小間 (前回 2017 年は 612 社・団体 2,775 小間)

※前回比 25 社 285 小間の増加、過去最大規模での開催

## 【ゾーン別 小間数】

■産業用ロボットゾーン	2,379 小間 (前回 2,012 小間)	※前回比 367 小間増
■サービスロボットゾーン	551 小間 (前回 533 小間)	※前回比 18 小間増
■特別企画ゾーン	130 小間 (前回 230 小間)	(ロボット大賞、ロボットアイデア甲子園、つくる☆さわれる国際ロボット展 等)

## 【海外出展者数】

95 社 389 小間 (前回 88 社 252 小間) ※前回比 7 社 137 小間増

## 【出展国】16ヶ国

アメリカ、イタリア、オーストリア、カナダ、韓国、シンガポール、スイス、スウェーデン、タイ、中国、台湾、デンマーク、ドイツ、フランス、モナコ、ルーマニア

## 《見どころ》

### ① 過去最大規模の産業用ロボットゾーン

産業用ロボットは、従来の自動車や電子部品業界での利用から、食品、医薬品等への導入が拡大し、近年では物流や建設など幅広い業界で注目されています。

今回、青海ホールに新設した「ロボット S1er ゾーン」では、実際の現場を想定し、適切なシステムを提供するロボットシステムインテグレータ (S1er) が展示を行います。本ゾーンは 3 会場全てに展開しており、最も大きなゾーンとなっています。

### ② 災害対応から介護・福祉、農業、教育まで幅広いサービスロボットゾーン

サービスロボットゾーンでは、NEDO ブースを中心とした最新ロボットの实演の他、農林水産省は、農業ロボットの合同展示を行います。

また、2020 年に経済産業省と NEDO が主催する「World Robot Summit2020」のトライアル競技会 (製品組立チャレンジ、フューチャーコンビニエンスストアチャレンジ) を開催します。その他、介護・福祉、教育など実生活で活躍するロボットを展示します。

### ③ 国際色豊かなシンポジウム・フォーラムを連日開催

会期初日には、国際会議場で開催する「iREX ロボットフォーラム 2019」をはじめ、産業用ロボットに関する著名なロボットの開発者、技術者を国内外より招きフォーラムを開催します。また、西ホール 4F のメインテージでは『建設生産・管理システムにおける AI・ロボットの活用』や『ロボット・ICT が拓くスマート農業の未来』を 2 日目に開催し、インフラ・農業・介護といったサービスロボットに関連する各種フォーラムを開催します。

## 注目の併催事業

### ■ 『iREX ロボットフォーラム 2019』

日時：12月18日（水） 15：00～17：00

会場：会議棟 7F 国際会議場 定員：1,000名（聴講無料）

主催：（一社）日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

テーマ：「ロボットはパートナー 変わりつつある働く現場」



【前回風景】

内容：大手ロボットメーカーおよびユーザーより、人とロボットのこれからについてパネルディスカッションを行います。

パネリスト：

#### 【ロボットメーカー】

川崎重工業、ファナック、不二越、安川電機、ABB、KUKA の6社

#### 【ユーザー・SIer・公的機関】

デンソー、PALTAC、三明機工、経済産業省

#### 【モデレータ】

ジャーナリスト 三神 万里子 氏

## 注目の併催企画

### ■ 「第8回 ロボット大賞」受賞者合同展示

《内容》

「第8回 ロボット大賞」の受賞ロボットの展示・実演を行います。産業用からサービス用まで多分野で活躍する最新のロボットに触れることができます。

※本事業は、競輪の補助を受けて実施します。

場所：西4ホール内



【前回風景】

### ■ 『つくる☆さわれる国際ロボット展』（体験企画）

《内容》

工作教室、ロボット操作体験など、子供から大人まで、幅広く楽しめる企画を予定しています。

場所：西4ホールメインステージ、南3ホールセミナー会場

※12月21日（土）のみ実施



【前回風景】

☆最新情報は公式 Web サイトにて随時更新しています。

<https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>